

令和元年度主要事業の取り組みについて

1. 観光産業をはじめ産官学の幅広い連携によるオールジャパン体制構築と国民運動の展開	2
(1) 政策提言事業	
(2) 広報啓発事業	
2. 産業と地域の基盤・担い手となる観光人材の育成	4
3. 国際競争力のある観光地域づくりと観光の基幹産業化に向けての支援	6
(1) 魅力ある観光地域づくり推進モデル事業の実施	
(2) 観光産業の生産性向上の支援	
(3) マーケティング支援などの日本版DMO推進のための各種事業の実施	
(4) 広域観光ルート整備促進と広域観光の推進	
(5) 海を活用した観光推進事業	
(6) 地域魅力の発信に対する顕彰事業	
4. 新たな観光魅力の創出による観光需要の創造	10
(1) 観光需要創造事業	
(2) 観光情報収集・提供システム整備事業	
(3) 調査研究事業	
5. 双方向交流の拡大と国際交流の推進	13
6. 組織活動事業	15
7. 支部事業	16



1. 観光産業をはじめ産官学の幅広い連携によるオールジャパン体制構築と国民運動の展開

(1) 政策提言事業

① 観光先進国実現に向けた活動（日本財団基金事業）

自治体、観光関連産業、製造、文化及び金融等の幅広い産業の団体・企業約123組織によって構成される「観光立国推進協議会」を開催し、観光先進国推進について協議を行った。なお、専門部会は観光教育専門部会、DMO専門部会を開催するとともに、本年度から二次交通(地域交通)専門部会を設け、各分野における課題検討を行った。

●第7回観光立国推進協議会

日時：令和2年1月21日(火)15:00～16:30

場所：東京都港区

●DMO専門部会

第1回：令和元年9月19日(木)15:00～17:00

第2回：新型コロナウイルスの影響により書面開催

●観光教育専門部会

第1回：令和元年9月11日(水)16:00～17:00

第2回：新型コロナウイルスの影響により書面開催

●二次交通(地域交通)専門部会

第1回：令和元年6月25日(火)10:00～12:00

第2回：令和元年11月22日(金)15:00～17:00



《観光立国推進協議会の様子》

② 観光予算等に関する要望事項の提案（一般事業）

我が国の観光振興に関する中枢機関としての役割を果たし、観光先進国の実現を図るため必要な事業や、新型コロナウイルス感染症に関する対策について、当協会から観光庁に対して、提案した。

③ 二次交通(地域交通)の充実に向けての課題の発掘と支援強化（日本財団基金事業）

●二次交通(地域交通)モデル事業

岩手県花巻市をモデル地域として、基礎調査・ヒアリング調査・検討会議等を通じて、地域交通という側面を考慮しながら二次交通(地域交通)に関する検討を行った。

●二次交通(地域交通)空白地域調査事業

訪日外国人旅行客の受入体制として整備が急務となっている二次交通(地域交通)について、東北エリアを対象に、旅行客動態情報とバス路線情報から現状把握を試みる調査を実施した。

④ 観光立国タウンミーティングや異業種交流セミナーの開催（日本財団基金事業）

■観光立国タウンミーティング「東北観光シンポジウム」の開催

テーマ：「東北観光を新たなステージへ。持続可能な東北観光の今後」

日時：令和2年2月10日(月)

会場：宮城県仙台市

参加者：308名

■異業種交流セミナーの開催

「地域と企業の事業連携創出ミーティング」を開催し、地域の魅力向上をサポートする企業と、地域の事業連携を推進した。

日 時：令和元年6月13日(木)

会 場：東京都港区

参加者：(企業側)8団体14名 (地域側)30団体34名

⑤ 観光教育や心のバリアフリーの推進 (日本財団基金事業)

■観光教育推進事業

旅の意義、楽しさ、旅の効用、ツーリズム産業の重要性(経済波及効果)を通じて、国際理解、環境、職業感について教示するとともに、ツーリズム産業の認識度向上を目的として平成30年度に作成した学習教材を増刷するとともに、利用したモデル授業や普及啓発を継続して実施した。

●観光教育モデル授業の実施

日時：令和元年9月26日(木)

場所：埼玉県秩父市吉田小学校



《吉田小学校でのモデル授業の様子》

■心のバリアフリー啓発事業

国民一人一人、またツーリズム産業従事者が高齢者や障害者及び外国人に対する必要な配慮を正しく理解し、適切に実践できる取り組みを検討した。「外国人に対する心のバリアフリー」の解消を目的に、飲食店及びバス事業者に対して、啓発用のツールを作成・配布し、現場においての有効活用を促進した。



(2) 広報啓発事業

① 広報WEBサイト及びメールマガジン等による広報（一般事業）

当協会のWEBサイト（<http://www.nihon-kankou.or.jp/home/>）にて、当協会事業の実施状況の発信を行うとともに、会員専用ページにて、観光に関する統計データの提供を行った。また、会員メールマガジンにて、当協会及び会員の実施する事業や国の観光政策等の情報を発信した。

② 季刊「観光とまちづくり」の発行（宝くじ協会助成事業）

観光情報誌「観光とまちづくり」を年4回発行した。各地域における先進的取り組みや観光魅力の創出事例などの紹介を行うことにより、地域の観光振興を支援した。

●令和元年度発行

- ・春号 4月26日発行 特集：これからの地域ブランディング
- ・夏号 7月10日発行 特集：観光地の危機管理
- ・秋号 10月10日発行 特集：温泉地復活の秘訣
- ・新年号 1月30日発行 特集：観光型MaaSの可能性

2. 産業と地域の基盤・担い手となる観光人材の育成

① 日本観光振興アカデミーによる人材育成支援（全国広域観光振興事業）

日本観光振興アカデミーにおいて、観光地域づくりに必要とされる中核的な人材を育成するため、きめ細やかな研修を地域が主体的に実施するための支援を行った。今年度は、公募審査の結果、令和元年9月から令和2年2月までの間に、観光地域づくり人材育成研修を20団体実施した。研修メニューごとの実施団体は次のとおり。

i 観光地域づくりのための組織づくり（日本版DMO形成）(5)

- ・公益財団法人群馬県観光物産国際協会
- ・公益社団法人やまなし観光推進機構
- ・公益社団法人三重県観光連盟
- ・公益社団法人岡山県観光連盟
- ・栗東市観光物産協会

ii. 魅力ある観光地域づくりのための人材育成 (1)

- ・一般社団法人登別国際観光コンベンション協会

iii. 観光地域づくりのマーケティングとコンテンツづくり (3)

- ・一般社団法人愛知県観光協会
- ・公益社団法人鳥取県観光連盟
- ・北九州市

iv. 新たなツーリズム領域（産業観光・エコツーリズム・グリーンツーリズム等）(2)

- ・山形県観光物産協会
- ・十日町市

v. インバウンドの受入整備 (7)

- ・公益財団法人岩手県観光協会
- ・南砺市
- ・福井市
- ・福山観光キャンペーン実行委員会
- ・公益社団法人香川県観光協会
- ・一般社団法人愛媛県観光物産協会
- ・公益社団法人ツーリズムおおいた

vi. 災害からの観光振興・観光地の危機管理 (2)

- ・神奈川県
- ・一般社団法人富士五湖観光連盟

② 観光人材育成研修メニューと講師の充実（全国広域観光振興事業）

観光地域づくりにとって必要とされる中核的な人材を育成するため、多様なメニューを取り揃えた人材育成プログラムの策定・提示、講師紹介等をWEBサイト「観光地域づくり研修ナビ（<http://www.nihon-kankou.or.jp/jinzai/>）」を通じて行うとともに、研修教材や講師の充実を図った。

③ 産業界を担うトップ人材の育成（一般事業）

次世代のトップマネジメントを担う人材の育成を目的に、観光関連産業および自治体、観光関連団体の幹部候補生等を対象にしたトップセミナーを東京都立大学（旧首都大学東京）と共催した。

●第9回観光経営トップセミナー

- ・日時：（講義）令和元年7月22日（月）～26日（水）
8月19日（月）～22日（木）
（サイトビジット）令和元年7月25日（木）、26日（金）
（論説文発表）令和元年12月13日（金）

- ・場所：（講義）東京都千代田区
（サイトビジット）神奈川県箱根町
（論説文発表）東京都港区

- ・内容：業界経営者・大学教授等による講義、実地研修、論説文作成



《開講式の様子(校長訓辞)》

④大学への寄附講義の実施（一般事業）

観光行政の幹部、ツーリズム産業界の第一線で活躍している経営幹部及び実務経験者、また観光関係の学識経験者を大学に招いて、オムニバス形式やグループ研究にて大学生に観光を学んでもらう寄附講義を開講した。

（前期課程）京都大学

（後期課程）東京都立大学（旧首都大学東京）、一橋大学、山形大学

⑤ 各種人材研修プログラムの実施（日本財団基金事業）

観光立国の実現に向けて、観光産業を我が国の成長に資する基幹産業とするため、観光人材の育成・強化を図った。具体的には、産学官から参加者を募り、観光経営における多種多様な課題を共有し、それぞれの立場から意見交換を行う「観光経営研究会」を年間2回開催した。

- ・第6回観光経営研究会「持続可能な観光地とするための危機管理」
日 時：令和元年7月10日（水）14：00～17：00 参加者：26名

- ・第7回観光経営研究会「訪れたくなるまちづくりと合意形成について」
日 時：令和2年1月30日（木）14：00～17：00 参加者：30名

3. 国際競争力のある観光地域づくりと観光の基幹産業化に向けての支援

(1) 魅力ある観光地域づくり推進モデル事業の実施（一般事業・日本財団基金事業）

特に先進的かつ他の模範となり、DMO形成をより地域をモデル地域として採択し、支援を行った。

①地域観光支援事業（一般事業）

都道府県レベルのDMOを対象に、特に先進的かつ他の模範となり、DMO形成をより促進するモデル地域を募集し、支援した。

●支援地域

i 一般社団法人岐阜県観光連盟

「地域観光マーケティング導入事業」

ii 一般社団法人イーストとくしま観光推進機構・一般財団法人徳島県観光協会

「Night Time Economy活性化へ！徳島発魅力発信プロジェクト」

②モデル地域事業（日本財団基金事業）

地域DMOおよび地域連携DMOを対象に、特に先進的かつ他の模範となり、DMO形成をより促進するモデル地域を募集し、支援した。

●支援地域

i 一般社団法人八ヶ岳ツーリズムマネジメント

「住民満足度×経済波及効果分析プロジェクト」

ii 一般社団法人京都府北部地域連携都市圏振興社（海の京都 DMO）

「海の京都 持続可能な産業文化遺産観光を創る～食と食文化から観る地域の魅力～」

(2) 観光産業の生産性向上の支援（一般事業）

国内外旅行者の宿泊予約・実績データや宿泊客の属性データをマーケティングデータとして利用可能とする「観光予報プラットフォーム」を整備し、各地域のDMO機能向上を支援した。また、第4回観光プラットフォーム活用コンテストを開催し、活用を促進した。



< 第4回観光予報プラットフォーム活用コンテスト審査結果 >

賞	受賞者名・取組名
【大賞】 【部門賞】 [地域部門]	一般社団法人白馬村観光局 「観光予報プラットフォームデータ+気象データ+地域固有データのミックスによる地域固有の特性を反映された精度の高い宿泊需要予測の仕組みづくり」
【部門賞】 [学生部門]	首都大学東京 自然文化ツーリズムコース4年有志 「観光予報プラットフォームを利用した自然災害による観光地への風評被害の早期払拭を目的とするより効果的な復興キャンペーン提案に向けた示唆 ー北海道胆振東部地震を対象にー」
【特別賞】 [学生部門]	三浦学苑高等学校（神奈川県横須賀市） 「ビックデータを活用した観光教育」

(3) マーケティング支援などの日本版DMO推進のための各種事業の実施

①DMO形成支援事業（全国広域観光振興事業）

WEBサイト「DMOなび」(<http://www.nihon-kankou.or.jp/DMO>)では、DMO支援情報、DMO先進事例を紹介し、国内におけるDMOの普及啓発と形成支援を実施するとともに、DMO候補法人の中から財源確保に向けて積極的に事業を展開しているDMOでの既存組織同士の役割分担やKPI・PDCAの仕組みなどについてヒアリング調査を行い、「DMOなび」を通じて事例報告を行った。

【ヒアリング調査実施団体】

- ・（一財）丘のまちびえい活性化協会（北海道）
- ・（株）かまいしDMC（岩手県）
- ・（一社）佐渡観光交流機構（新潟県）



②地域観光推進体制強化事業（日本財団基金事業）

DMOの現状と課題抽出を目的としたDMO実態調査を継続して実施した。また、テーマを設定し、国内外の先行事例のヒアリング調査や、現地調査を行った。

●DMOの実態調査の実施

日本版DMO（候補）法人等を対象に、組織の状況、事業の取り組み等について実態を把握するためのアンケート調査を行った。

- ・調査期間：令和2年1～2月
- ・調査内容：役職員構成・人材、課題など
- ・調査対象：日本版DMO法人・候補法人 267法人（令和2年1月14日時点）

●DMOにおける人材に関する調査の実施

DMOにおける人的資源に関して、関係各所へのヒアリング等を通じて実態や課題とその解決策等について調査した。

- ・調査期間：令和2年2～3月
- ・調査内容：DMOにおける人材の配置、育成、民間企業との効果的な人材出向
- ・調査対象：日本版DMO6団体と関係する6企業

(4) 広域観光ルート整備促進と広域観光の推進（全国広域観光振興事業）

全国各地で地域が主体となって、地域の魅力を発信するため、歴史的な価値や文化的な意義等を共通のテーマ（世界遺産、日本遺産、北前船等）として、地域間連携、地域間交流を図る新たな広域観光振興の取組に対し、フォーラムやシンポジウムの開催等を通じて事業を推進した。

●第6回世界遺産サミットの開催

- ・開催日：令和元年11月21日（水）～22日（木）
- ・場 所：栃木県日光市

●北前船寄港地フォーラムの開催

以下のフォーラムへの参画、役職員の派遣等を通じた開催支援を行った。

- ・第27回北前船寄港地フォーラムin庄内・山形
開催日：令和元年9月11日（水）～12日（木）
場 所：山形県酒田市・鶴岡市
- ・第28回北前船寄港地フォーラムin小樽・石狩
開催日：令和元年10月19日（土）～20日（日）
場 所：北海道小樽市・石狩市

- ・第29回北前船寄港地フォーラムin鹿児島
開催日：令和2年1月31日(金)～2月1日(土)
場 所：鹿児島県鹿児島市
- ・第30回北前船寄港地フォーラムin浜田
場 所：島根県浜田市（※新型コロナウイルス感染拡大を受け中止）

(5) 海を活用した観光推進事業（日本財団基金事業）

クルーズ発着港まで航空機で行き、乗船してクルーズ旅行を楽しむ「フライ&クルーズ」に着目し、発着港周辺地域の消費拡大等に向け、沖縄県宮古島市をモデルとして関係者による意見交換やインフルエンサーを活用した調査を実施した。

また、マリンアクティビティへの関心をより一層高めるため、世界最大級の旅の祭典ツーリズムEXPOジャパンに出展し、マリンアクティビティの魅力を発信するとともに、マリンアクティビティの普及推進活動に使用する動画を制作し、同出展ブースで放映するなどマリンアクティビティに関する需要拡大に努めた。

(6) 地域魅力の発信に対する顕彰事業（全国広域観光振興事業）

地域の魅力を表現し、旅行者を地域へと誘う観光ポスター等の観光宣伝ツールの質的向上を図るとともに、地域魅力を消費者に周知するため、公募により観光ポスターコンクールを実施した。さらにWEBサイトでの公開、駅頭やイベントを活用した作品展を開催し、作品の紹介を通じて地域のPRを行った。

● 第67回ポスターコンクール表彰式

令和元年6月7日(金)開催の「公益社団法人日本観光振興協会通常総会」（会場：東京プリンスホテル）において、第67回日本観光ポスターコンクールの表彰式を行った。

● 優秀作品展の実施

下記の日程で優秀作品展を開催した。

i 優秀作品展

- ・愛知県名古屋市（JR名古屋駅 中央コンコース イベントスペース）
期間：令和元年7月12日(金)～13日(土)
- ・東京都千代田区（JR東京駅丸の内側通路）
期間：令和元年8月27日(火)～9月2日(月)
- ・大阪府大阪市（曾根崎地下歩道PRコーナー）
期間：令和元年10月5日(土)～18日(金)

ii 作品掲出

- ・羽田エアポートビジョンでの掲出
期間：令和元年9月9日(月)～18日(水)
- ・KITTE MARUNOUCHIでの掲出
期間：令和元年7月20日(土)～24日(火)

● 第68回日本観光ポスターコンクールの実施

平成31年1月から令和元年12月までの間に制作されたもの(予定を含む)で、地域の観光振興に繋がることが、明確に読み取れるポスターを対象とし、第68回日本観光ポスターコンクールにおいて作品を募集した（募集期間は令和元年10月から12月）。

●審査結果

- ・ 専門審査会：令和2年3月4日(水)開催
- ・ 審査結果：次表のとおり

賞	作品名	出品者名
国土交通大臣賞	まだ見ぬ九州へ。	九州旅客鉄道株式会社
総務大臣賞	『The Resort, Nikko.』	東武鉄道株式会社
観光庁長官賞	石川県観光ポスター 『いしかわくわく』エリア版	公益社団法人 石川県観光連盟
日本観光振興協会会長賞	RALLY NIPPON 2019 IN KYUSHU	一般財団法人 ラリーニッポン
インバウンド賞	TOKYO' s new LUXURY	東京都/ 公益財団法人東京観光財団
審査員特別賞	「謎めくあかし 解きあかし」 シリーズ：5	一般社団法人明石観光協会
入賞	ジュエリーアイス ～氷の宝石をさがす旅～	豊頃町観光協会
	Visit Himeji	兵庫県 姫路市
	「謎めくあかし 解きあかし」 シリーズ：2・3・4	一般社団法人明石観光協会
	大山観光ポスター2019	一般社団法人大山観光局
	備前市里海里山発信 ポスター	備前市里海里山ブランド推進協議会 with ICM

<国土交通大臣賞> 『まだ見ぬ九州へ。』 (九州旅客鉄道株式会社)



<総務大臣賞> 『The Resort, Nikko.』 (東武鉄道株式会社)



4. 新たな観光魅力の創出による観光需要の創造

(1) 観光需要創造事業

① AI、ICTなど新しいテクノロジーの導入支援（一般事業）

訪日旅行客の旅行形態の個人旅行化と、国内各地域への移動範囲の広がりに伴い、二次交通自体の整備やこれに伴う情報インフラの整備は、観光関連業界、運輸関連業界、DMO等にとって特に関心の高い分野となっている。そこで、二次交通整備の一環として、自動運転やAIの二次交通への活用の検討や、MaaS (Mobility as a Service) に関するセミナーをツーリズムEXPOジャパン「ツーリズムプロフェッショナルセミナー」で行った。また、季刊「観光とまちづくり」の特集として取り上げた。

② 働き方改革など休暇制度の改革による観光需要の創造（一般事業）

○「1 ウィークバカンス2019」休暇・旅行動向調査の実施

「働き方改革を推進するための関連法律の整備に関する法律」が成立し、令和元年4月1日より全ての使用者に対して「年5日の年次有給休暇の確実な取得」が義務付けられたことから、これまで継続して実施してきた休暇取得状況や直近1年間の旅行実態、旅行に対する意識に加え、今回は有給休暇取得の意識や実態を把握する設問を追加した。

調査方法：全国18歳以上の有職者へのインターネット調査

調査期間：令和元年11月7日（木）～13日（水）

標本数：5,730サンプル

調査内容：休暇取得状況、直近1年の旅行実態、旅行に対する意識、有給休暇取得の意識や実態など

③ テーマ別観光・体験ツーリズム（産業観光、ガストロノミーツーリズム、酒蔵ツーリズム等）などによるデスティネーションブランディング

（一般事業、日本財団基金事業、全国広域観光振興事業）

近年、旅行者及びそのニーズも多様化してきており、各地においてエコツーリズム、産業観光、酒・食(ガストロノミー)、アニメやエンターティメント、医療などと連携したいいわゆるニューツーリズムが注目されている。

当協会が長年かけて開発してきた産業観光については、先進地事例・日本のテクノロジーの紹介や産業観光に取り組む地域や企業の情報交換の場の提供など地域に向けた周知・普及を行うとともに、他分野についても重点的に支援を行った。

●産業観光

- ・第19回全国産業観光フォーラムの開催
令和元年10月25日（金） 大阪市住之江区 インテックス大阪
- ・第13回産業観光まちづくり大賞の実施
表彰式を令和元年10月25日（金）全国産業観光フォーラム会場にて実施
- ・全国産業観光推進協議会の開催
総会を2回（令和元年4月25日（木）、10月25日（金））、執行委員会を3回（令和元年4月25日（木）、9月5日（木）、10月25日（金））開催。
- ・産業観光ワークショップ等の実施
石川県南加賀地域、滋賀県、大阪府泉州地域において計7回開催した。
- ・公益財団法人日本修学旅行協会との連携
同協会の機関誌「教育旅行」において令和元年7月「産業観光と教育旅行」をテーマとした特集記事を掲載。
- ・Industrial Study Tourism（産業訪問）事業
観光庁「テーマ別観光による地方誘客事業」として、産業観光実態基礎調査、諸外国向けの情報・体制整備、海外とのネットワーク構築を行った。

●酒蔵ツーリズム事業

- ・外国人受入れ態勢標準化ツールの整備
従来の英語版に加えて、中国語版、映像による英語版の制作（自主財源）
- ・日本酒フェア（日本酒造組合中央会主催）への参加
- ・東京北区赤煉瓦酒造工場にて「美酒県山形の酒を知る」セミナーを開催
- ・文化庁文化財多言語解説整備事業補助の活用
東京の酒蔵をテーマにした映像、VR等作成
- ・文化庁日本博事業を活用した「晴レの酒、花の宴。」事業を展開
①ツーリズム EXP02019 大阪への出展、②タイでの東京観光財団セミナーへの参加、③東京北区赤煉瓦酒造工場での「晴レの酒、花の宴。」イベントの実施、④ドイツ・ベルリンにて日本大使館主催のジャパンナイト参加とプロモーションの実施などを通じて、酒蔵ツーリズムのプロモーションを実施した。

④ 体験ツーリズム普及推進事業（日本財団基金事業）

日本遺産として琉球王国時代から連綿と続く伝統的な「琉球料理」と「泡盛」そして「芸能」が採択された沖縄県において、物語性を重視した体験観光プランやそれらの国内外に向けての効果的な情報発信の手法を探るとともに、運輸、飲食、芸能等のあらゆる産業と連携することにより、新たな観光需要の創造を図ることを目標として①委員会の開催、②情報発信ツールの制作・配布、③体験コンテンツの選定、④情報提供サイトの公開などを行った。

⑤ ナイトタイムエコノミーなどコンテンツ充実による滞在の長期化（一般事業）

近年「モノ消費」から「コト消費」の変化への対応がますます重要になる中、各地域の産業等と連携し、旅行消費と強い相関がある滞在時間の長期化を促す必要がある。そのためには、文化や自然など地域固有の観光資源や夜間の時間帯などを活用した体験型観光コンテンツを充実させ、新たな観光需要の創造を図るため、モデル地域を選定し事業を実施した。

⑥ ラグビーワールドカップ日本大会や東京オリ・パラ等を契機とした 誘客・受入に関する取組情報の提供（日本財団基金事業）

東京オリンピック・パラリンピック大会に向けて、ますます重要となる観光ボランティアガイドの技術向上、育成を支援するため、観光ボランティアガイド組織同士の連携強化及び課題解決、成功事例の共有等を目的とした「都道府県観光ボランティアガイド連絡協議会代表者会議」を実施する予定であったが、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点からやむなく中止をした。また、観光ボランティアガイド団体の所在・構成や活動状況、今後の組織課題などに関する調査を実施した。

⑦ 観光情報の提供と災害時における情報提供のあり方の検討（日本財団基金事業）

前述の観光経営研究会で検討を行ったほか、季刊「観光とまちづくり」において観光地における危機管理に関する特集を組み、検討を行った。

(2) 観光情報収集・提供システム整備事業

① Webサイト「全国観るナビ」による観光情報の提供（一般事業、全国広域観光振興事業）

一般消費者、企業等の観光情報についてのニーズに対応して、全国観光情報データベースの整備・運営を行うとともに、観光情報の流通拡大を図り、観光情報の収集・提供体制の整備を行った。

また、国内観光ポータルサイト「全国観るナビ-mirunavi-」において観光情報の提供を行った。

● 全国観光情報データベースの整備・運営・再構築

都道府県、市区町村の協力を得て収集した約13万件の地域観光情報と季節情報を整備・運営・再構築を行った。

● 地域観光情報の流通網の拡大

全国観光情報データベースの自動配信システムを活用した地域観光情報の効率的な提供を行うとともに、一般消費者等のニーズに対応したデータの整備を行い、地域観光情報の流通網の拡大を図った。

● 国内観光ポータルサイト「全国観るナビ-miru navi-」等の整備・運営・リニューアル

地域観光情報やSNSと連携した地元情報、着地型旅行商品情報、季節情報等を「全国観るナビ-miru navi-」サイトにより提供するとともに、英語版サイト「Must-see Japan」を通じ、季節情報等を英語にて提供した。

(3) 調査研究事業

① 観光総合調査（観光の実態と志向）の実施（日本財団助成事業）

昭和39年以来、国民の観光需要の動向等についての観光総合調査（観光の実態と志向）を行い、その特徴を時系列で把握するとともに、年次傾向を明らかにした。

● 第38回観光総合調査

- ・調査時期：令和元年10月
- ・サンプル数：20,000サンプル
- ・調査項目：宿泊観光旅行の過去1年間の実態と今後1年間の志向

② 国や地方自治体等からの受託事業の実施

国や地方自治体等からの受託事業として、国内観光振興に関する調査・分析、地域における観光客数実態調査の実施や観光戦略の策定などを行った。

③ 刊行物の発行

観光地域づくりを推進する上で必要となる基礎的データを収集した刊行物を発行する。

- ・「数字でみる観光」：現状の観光に関する情報について、図表を用いてコンパクトにまとめたハンドブック。（令和元年9月発行）
- ・「観光の実態と志向」：上記の観光総合調査の結果をとりまとめ、過去のデータから時系列に分析した一冊。（令和2年3月発行）

5. 双方向交流の拡大と国際交流の推進

観光交流活性化事業

① ツーリズムEXPOジャパンの開催（全国広域観光振興事業）

海外旅行・訪日旅行及び国内旅行振興のため、全産業と地域の力を結集して実施する世界最大級の旅の祭典「ツーリズムEXPOジャパン2019 大阪・関西」を開催した。

- ・主 催：(公社)日本観光振興協会、(一社)日本旅行業協会、日本政府観光局
- ・テーマ：「私の旅は、次のステージへ。
旅が変わる。あなたが変わる。」
- ・期 間：令和元年10月24日(木)～10月27日(日)
- ・場 所：大阪市住之江区 インテックス大阪/ハイアットリージェンシー大阪
- ・出展者：国内724小間・海外604小間の団体
 - ・その他171小間・合計1,499小間
- ・来場者数：151,099人



《出展の様子》

●第5回ジャパン・ツーリズム・アワードの実施

「ツーリズムEXPOジャパン」とのシナジー効果により、国内・海外の団体・組織・企業の持続可能で優れた取り組みを表彰することで、ツーリズム業界の発展・拡大に寄与することを目的として実施した。

- ・応募総数：209件
- ・選 考：第5回ジャパン・ツーリズム・アワード審査会（審査委員長：本保芳明国連世界観光機関(UNWTO)駐日事務所代表、首都大学東京特任教授）において、以下のとおり受賞団体を選定した。
- ・表彰式：日時：令和元年10月24日(木)TEJ2019 開会式後
場所：大阪市・ハイアットリージェンシー大阪

賞名	受賞団体名	
国土交通大臣賞	株式会社百戦錬磨	(国内・訪日領域 ビジネス部門)
観光庁長官賞	佐賀嬉野バリアフリーセンター	(国内・訪日領域 地域部門)
	一般社団法人田辺市熊野ツーリズムビューロー	(国内・訪日領域 地域部門)
	パラオ政府観光局	(海外領域 地域部門)
エクセレントパートナー賞	フィリピン観光省	(海外領域 地域部門)
学生が選ぶ ジャパン・ツーリズム・アワード	株式会社エイチ・アイ・エス	(海外領域 ビジネス部門)
DMO推進特別賞	一般社団法人大雪カムイミンタラDMO	(国内・訪日領域 地域部門)
	一般社団法人田辺市熊野ツーリズムビューロー	(国内・訪日領域 地域部門)
デジタル活用特別賞	ユーエム・サクシード株式会社	(国内・訪日領域 ビジネス部門)
	SoundUD推進コンソーシアム	(国内・訪日領域 ビジネス部門)
	ソフトバンク株式会社	(国内・訪日領域 ビジネス部門)
UNWTO倫理特別賞	佐賀嬉野バリアフリーセンター	(国内・訪日領域 地域部門)
	有限会社屋久島野外活動総合センター	(国内・訪日領域 ビジネス部門)

② 日台観光サミットの開催及び台北国際旅行博出展支援（全国広域観光振興事業）

●日台観光サミットの開催（全国広域観光振興事業）

日台の双方向観光交流拡大を目指し、日台双方の観光関係団体、航空会社、旅行会社等のトップレベルによる意見交換等を行う「日台観光サミット」は、毎年日本・台湾交互に開催している。第12回サミットは、富山県富山市において開催し、①日台双方の新たな魅力の創出や航空路線の充実による地方都市への誘客拡大、②経済・スポーツ・文化・歴史等による観光交流の推進、③若年層の双方向交流の拡充、④商談会の開催や旅行博事業等での連携強化による日台双方向でのPR推進などを軸とした日台観光サミット・富山宣言に合意した。来年度は、台湾の桃園市での開催を予定している。

- ・日 時：令和元年5月23日(木)～26日(日)
- ・場 所：富山県富山市 ANAクラウンプラザホテル富山ほか
- ・参加人数：216名(日本側103名・台湾側79名・富山県関係者34名)

●台北国際旅行博出展支援（全国広域観光振興事業）

台湾最大の旅行博である台北国際旅行博（ITF）において、当協会が日本側出展の事務局を務め、各都道府県、都道府県観光協会(連盟等)、観光事業者等と一体となって形成される日本ゾーンの出展とりまとめや主催者と日本ゾーン各団体との連絡調整等を行った。

- ・期 間：令和元年11月8日(金)～11月11日(月)
- ・会 場：台湾台北市 南港展覽館
- ・主 催：財団法人台湾観光協会
- ・総出展者：60か国・地域 1,700ブース

③ UNWTO及びWTTCとの連携による日本のツーリズムの世界への情報発信

(日本財団基金事業)

UNWTOが推進する事業での協力や、UNWTOが世界各地で展開している先進事例の日本における発信・普及や、我が国の観光先進事例の世界への発信ならびに人材面での協力を通じて日本の地域を積極的に支援する。特に2017年から取り組んでいるガストロノミーツーリズムについては、日本の事例等を調査し世界に発信するとともに、関係機関と連携して国内普及等を行った。

④ 訪日外国人旅行者受入支援（日本財団基金事業）

訪日外国人旅行者受け入れに取り組む地域に対して地域の現状に沿った調査と受け入れ支援に向けた意見交換の場を設け、地域における外国人旅行者受け入れ体制を支援した。今年度は下記の通り事業を行った。

- ・訪日外国人受け入れ懇談会 令和元年9月29日(日)～30日(月) 愛知県蒲郡市
- ・メディア向けPRキットの作成 青森県八戸市

6. 組織活動事業

① 諸会議の開催

諸会議及び各種委員会の開催、また会員や関係機関の実施する行事の支援や連携、協議を行った。令和元年度（第56回）通常総会を令和元年6月7日（金）に開催した。また、理事会を年3回、全国広域観光振興事業を実施するにあたり運営評議会を年2回開催した。

●令和元年度（第56回）通常総会の開催

日時：令和元年6月7日（金）15：00～16：00

●理事会の開催

- ・第173回理事会
令和元年5月10日（金）13：30～15：00
- ・第174回理事会
令和元年6月7日（金）16：00～16：15
- ・第175回理事会
令和2年3月3日（火）13：30～15：00

●全国広域観光推進事業運営評議会の開催

- ・第40回
令和元年8月2日（金）14：00～16：00
- ・第41回
令和2年3月（新型コロナウイルス感染拡大に伴い、書面審議で実施）

●正副会長・支部長合同会議の開催

日時：令和2年3月3日（火）12：00～13：20

② 観光関係諸団体との連携、協議

関係する事業への当協会後援名義等による支援や、メールマガジン・協会サイトなどで告知宣伝を行ったほか、観光立国推進協議会専門部会などによる協議等を行った。また、協会事業の説明会を下記のとおり開催した。

ブロック区分	開催日	開催場所
北海道	R1. 6. 19	北海道札幌市 かでの2.7(道民活動センター)
東北	R1. 6. 18	宮城県仙台市 TKPガーデンシティ仙台西口
関東	R1. 6. 13	東京都港区 BMT貸会議室
中部	R1. 7. 2	愛知県名古屋市 名古屋ダイヤビル会議室
関西	R1. 6. 25	大阪府大阪市 大阪U教室
中国・四国	R1. 6. 26	岡山県岡山市 岡山コンベンションセンター
九州	R1. 6. 27	福岡県福岡市 博多バスターミナル第9ホール

7. 支部事業

当協会の全国的なネットワークを構成する北海道、東北、関東、中部、関西、中国、四国、九州及び沖縄の9ブロックが、全国事業と連携を取りつつ、当該ブロックの観光振興にとって効果的な事業を自ら企画・立案して実施した。

地域名	事業内容
北海道	<ul style="list-style-type: none"> ・ホスピタリティ推進事業 ・観光客受け入れ等研修事業
東北	<ul style="list-style-type: none"> ・台湾 FIT 促進プロモーション事業 ・東北プロモーション in 台湾 2019 事業
関東	<ul style="list-style-type: none"> ・夏の旅観光展 I N大宮駅 ・第27回台北国際旅行博出展等 ・ふるさと観光展 IN 仙台駅
中部	<ul style="list-style-type: none"> ・海外旅行博出展及びアジア FIT 誘客事業 ・広域観光推進連携事業 ・産業観光推進事業 ・情報発信事業
関西	<ul style="list-style-type: none"> ・国内観光展 ・広域観光宣伝資料作成
中国	<ul style="list-style-type: none"> ・観光展出展事業 ・広域観光推進事業
四国	<ul style="list-style-type: none"> ・訪日台湾教育旅行誘致事業 ・第27回台北国際旅行博出展事業
九州	<ul style="list-style-type: none"> ・観光ボランティアガイドの育成支援等事業 ・国内・国際観光展出展等 ・九州観光パンフレット等の制作
沖縄	<ul style="list-style-type: none"> ・広域連携観光協会等会議